

配布先：児安さん、堀口さん、田中哉巖さん・美華さん、但馬さん、西さん、小野さん、諸節さん、高橋さん、高木さん、小林さん、諫山さん、三浦さん

## マジシャンズ ムツアイ 活動報告（講習会） 29-10

### 2017年12月16日 活動報告(講習会)

1. 出席者：12月16日（土）児安、堀口、田中、美華、西、小野、高橋、高木、小林

2. 会場・活動時間：六会公民館 第一談話室 19:00～21:00

（記載は講習順ではありません）

### 3. 活動報告

#### 3. 1 会長からの連絡、他

##### （1）会長からの連絡

・特になし。

##### （2）依頼イベントの報告

・結果はHPのイベントを参照ください。

##### （3）1, 2月の練習会の担当

①1月6日 但馬、小野、高橋

②1月20日 小林、美華、堀口（注）

③2月3日 交流会の予定（ほぼ確定です）

④2月17日 高木、田中、児安（注）

⑤3月3日 未定（他メンバー、補講等）

（注）堀口さんの日程の都合で、児安さんと担当日を替えています。

・練習会の担当の方は、受講者が準備する用具について講習前にあらためてメールを発信ください。

・時間：30分／1人目安、実演、レクチャー（解説資料を準備）。

#### 3. 2 講習会レクチャー復習

##### （1）「ピックポケット」

①会員の演技：小野、高橋

##### 先生のコメント

・口上（せりふ）が重要、観客は何も知らないなので、くどいくらいスリ、見せ場の解説（「3枚のカードです」等しつこく）をすることが大切。

・講習終了

##### （2）「ファイブノット」

##### ①演技

・2本のロープを見せる→横に引くと一本のロープへ

・一本のロープをむすんで、結び目を作る→ロープの両端を持って振るそして垂らすと5つの結び目が出現→ロープを持って両手を上げるとすべての結び目がなくなり1本のロープになる。

##### ②用具

・次のサイズでロープを加工する。

98cm（92+3+3）両端3つに重ねる

26cm（13×2）結び目2つ

24cm（16+3+5）片側3つに重ねる、片側輪

24cm (16 + 3 + 5) 同上

### ③手順

(手技は文章に記載しきれないので、あらかじめの手順についての説明)

- ・2本のロープに見せて(セットして)、片手でにぎり観客にみせる(手の中に結び目)
- ・手の中の結び目を両手にわけて引いて一本のロープ。(結び目は各々の手の中に)
- ・手を離さないでフェイルスノットを作る。
- ・手を上で重ね、片方の手は、動く結び目を手の中に握ったままロープの真ん中にずらす。
- ・次に片端を離すと下にロープが垂れて5個のノットが出現する。
- ・結び目(動く)を、各々の手のひらにのせて、そのノットを握って横にひくと一本のロープに見える(手のひらに結び目がかくれ、またフェイルスノットはほどける)
- ・ロープを片手に持って演技終了。(ロープを引いて演技開始状態に戻す)

### (3)「2本のロープ」

- ・ロープの扱い方の復習。

## 3. 3 新規講習

### (1)「せんたくカード」

#### ①演技

- ・トランプカードを観客に表向きにファンし5枚のカードを選んでもらう、選んだカードはデッキの上方にずらす、そしてその中で4枚を取り裏向きにおいてもらう。
- ・残った、1枚のカードを観客に選んだカードとして覚えてもらい、そのカードも取り先ほどの4枚のカードと一緒にまぜてもらう。
- ・演者がカードをうけとり、洗濯ばさみで1枚ずつロープにつりさげる。
- ・ロープの両端を持って気を入れると、トランプがまわりかける、観客が選んだカードだけが上までまわる。

#### ②用具

- ・トランプデッキ (S i S t e b b i n s のセッティング)

#### セッティング方法

DCHS (♠♥♦♣) のマーク別に、表向きにA~K並(重ねる)べる、次にカットしてCは4、Hは7、Sは10を最初にする。(DはA)

DCHSの山順に1枚ずつ手に取っていく。

次にすべてのデッキをひっくり返し、DCHSの山順に手に取っていく(カードは裏向きなので表きにして上に重ねる)

カードがなくなるまで繰り返す(最後の各々のカードは2、5、8、Jとなるはず)

#### 使い方

選んでもらったカードを観客に見てもらっている間に次のカードをピークする。

デッキのカードは、DCHS順にあるのでマークは、次のマーク、数字は3プラスする。

たとえば、ピークしたカード♥10の場合、選んだカードは♠K

- ・洗濯ばさみ、ロープ

洗濯ばさみは、ロープの太さより少し大きめ、ロープを回して空回りするように

ロープは5つの洗濯ばさみを挟める長さ、1か所に糸を複数通し(3から4mm)

ボンドで糸を固めてロープと同じ色に着色する。(洗濯ばさみで挟むと糸で空回り

しなくなる)

③手順

- ・デッキを観客に表向きに向けてファンし、5枚のカードを選んでもらいそのまま上にづらす。
- ・次に4枚を取って重ねてもらい、観客にカードを机においてもらっているときに残ったカードの次のカードをピックする。(選んだカードがなにか分かる)
- ・残ったカードを取ってよく混ぜてもらい。
- ・5枚のカードを受け取り、ロープに洗濯ばさみでつるす、観客が選んだカードは糸がある場所につるす。
- ・ロープを両手で持って横にのばす、そっとロープの両端を指でまわすカードは少し回りかけるが、空回りして滑ってしまう、糸のあるカードだけが回る。

3. 4 今後の講習について

先生より今後の講習マジックについて2つ紹介があり、受講について検討して回答することとなった。

①ロープとリング

2年前に講習

②レインボーロープ

用具の作成 透明なプラスチックの加工、色違いロープ作成、結び目作成  
プラスチック容器が難しそう。

付録：自主研究会（メモ）

六会公民館 第一談話室 17：00－19：00

1. 個別演技とそのポイント

(1) 高橋

①ジャンピングノット

(2) 高木

①ディアボロ

空中浮揚にみせるチャレンジ

糸がみえるか、手つき、糸の長さ等の会員からの意見。

②ランプの空中浮揚

ワンハンドカットしてカードを指でスピニアウトさせる。

(3) 小野

①カード当て(研鑽会の改善版)

4枚のカードを並び替えてもらい、演者がそのカードを予想した数字をカップに書く開けてみると同じ。

カップのギミックの仕組み、使い方の改善（動かしているのが見える）

数字でなくマークの方が見栄えが良いのでは。

以上

(記)高橋